

SBPS かんたんレジ規約

本規約は、SB ペイメントサービス株式会社（以下「SBPS」といいます）が提供する「SBPS かんたんレジ」という名称にて提供するサービス（以下「本サービス」といいます）の利用条件を定めるものであり、本規約には、本サービスの提供条件及び SBPS と本サービスにアクセスした者（本サービスを利用する前の者も含むものとし、以下「利用者」といいます）との間の権利義務関係を定めるものとし、利用者は本規約に従って本サービスを利用するものとします。

第1条 （適用）

1. SBPS は、本規約の内容に従って、本サービスを提供するものとし、利用者は本規約に従って本サービスを利用するものとします。
2. 本規約は、利用者と SBPS との間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されるものとします。
3. SBPS は本サービスに関し、本規約のほか、ご利用にあたってのルール、各種の定め（以下「個別規定」といいます）をすることがあるものとし、これら個別規定はその名称のいかんに関わらず、本規約の一部を構成することに利用者は同意するものとします。
4. 本規約の規定が前条の個別規定の規定と矛盾する場合には、個別規定において特段の定めなき限り、個別規定の規定が優先されるものとします。

第2条 （利用登録）

利用者は、本サービスを利用するにあたっては、登録希望者が本規約に同意の上、SBPS 所定のアプリ上において、SBPS 所定の登録作業を行うことにより、利用を開始することができるものとします。ただし、SBPS は、利用登録に関して、以下の事由があると判断した場合、利用を承認しないことがあり、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。

- (1) 利用登録に際して虚偽の事項を届け出た場合
- (2) 本規約に違反したことがある者からの申請である場合
- (3) その他、SBPS が利用登録を相当でないと判断した場合

第3条 （ユーザーID 及びパスワードの管理）

1. 利用者は、自己の責任において、本サービスのユーザーID 及びパスワードを適切に管理するものとします。
2. 利用者は、いかなる場合にも、ユーザーID 及びパスワードを第三者に譲渡又は貸与し、

若しくは第三者と共用することはできないものとします。

3. SBPS は、ユーザーID とパスワードの組み合わせが一致してログインされて行われた利用行為については、そのユーザーID を登録している利用者自身による利用とみなします。
4. ユーザーID 及びパスワードが第三者によって使用されたことによって生じた損害は、SBPS に故意又は重大な過失がある場合を除き、SBPS は一切の責任を負わないものとします。

第4条 （本サービスにおいて提供する機能）

1. SBPS は、利用者に対して、以下のサービスを提供するものとします。
 - (1) POS レジ機能
 - (2) POS レジ機能を用いて取引された情報を閲覧できる管理画面機能
 - (3) その他、上記に付随する各種機能
2. SBPS は、前項に定めるもののほか、利用者が別途追加料金（以下「オプション料金」という）を支払うことにより、オプションサービスを提供するものとします。なお、オプションサービスの内容は、アプリの管理画面に掲載又は SBPS が別途利用者に提供する資料（仕様書、ガイドライン等を含むものとし、これに限られないものとします）に記載するものとし、利用者は、アプリ又は当該資料に記載の方法に従いオプションサービスを利用するものとします。
3. 利用者は、オプションサービスを利用する場合には、アプリの管理画面又は SBPS 所定の方法で申し込みをするものとします。

第5条 （利用料金及び支払方法）

1. 利用者は、本サービス利用の対価として、SBPS が別途定める利用料金（申込書、見積書又は SBPS 所定のウェブサイト等に記載・表示される金額をいいます）及びオプション料金（オプション料金の内容は、申込書、見積書又は SBPS 所定のウェブサイト等に記載・表示される金額又はアプリの管理画面に表示される金額とします）を、別途 SBPS 所定の期日までに発行する請求書に基づき、請求書記載の金額を請求書記載の期日までに、SBPS 所定の口座に振り込む方法により支払うものとする。この場合において、振込手数料は、利用者の負担とします。
2. 前項の場合において、利用者が SBPS の提供する決済サービスを利用して、当該決済サービスにおいて SBPS が利用者に対して債務を負担する場合、SBPS は当該債務から前項に定める利用料金を控除（相殺）することができることを利用者は予め承諾するものとします。
3. 第 1 項に定める利用料は、利用者が第 2 条に定める登録処理が完了した日から発生するものとします。ただし、別途定めがある場合はこの限りではないものとします。

4. オプション料金は、利用者が前条第 3 項に定める申し込みが完了した日から発生するものとします。ただし、別途定めがある場合はこの限りではないものとします。

第6条 （電気通信回線）

利用者が使用する端末機器から本サービスに接続する電気通信回線は、利用者自身の責任と費用負担において、確保、維持されるものとし、SBPS は一切の責任を負わないものとします。

第7条 （禁止事項）

利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の行為を行わないものとします。

- (1) 法令に違反する行為又はそのおそれがある行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 本サービスの内容等、本サービスに含まれる著作権、商標権ほか知的財産権を侵害する行為
- (4) 他の利用者の利用を妨害する行為又はそのおそれのある行為
- (5) 本サービスによって得られた情報を商業的に利用する行為
- (6) 本サービスの運営を妨害する行為又はそのおそれのある行為
- (7) 本サービスを構成するハードウェア又はソフトウェアへの不正アクセス行為、クラッキング行為その他設備等に支障を与える等の行為
- (8) 他の利用者に関する個人情報等を収集又は蓄積する行為
- (9) 不正な目的を持って本サービスを利用する行為
- (10) 他の利用者のユーザーID 等を使用する行為又はその入手を試みる行為
- (11) SBPS が許諾しない本サービス上での宣伝、広告、勧誘、又は営業行為
- (12) 他の利用者又はその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- (13) 他の利用者に成りすます行為
- (14) 犯罪行為に関連する行為
- (15) その他、SBPS が不適切と判断する行為

第8条 （本サービスのサポートサービスについて）

1. SBPS は、本サービスにおいて、電話又はメールアドレスにてサポート（以下「サポートサービス」といいます）を行う場合があるものとします。
2. サポートサービスの対応は、SBPS の営業時間内での回答とし、当該時間内に回答できない場合は翌営業日以降の対応とします。
3. SBPS は、利用者へのサポートサービスの提供に関し、明示的であるか黙示的であるかを問わず、いかなる保証（特定目的への適合性、機能及び効果の有効性、本サポートの品質、脅威に対する安全性、商品性、完全性、正確性、複製・移設等されたデータの同

一性又は整合性、第三者の権利の非侵害性を含みますが、これらに限りません）も行わないものとします。

4. **SBPS** は、サポートサービスを提供するにあたり、利用者のデータにアクセスすることができるものとします。

第9条 （本サービスの提供の停止等）

1. **SBPS** は、以下のいずれかの事由があると判断した場合、利用者に事前に通知することにより本サービスの全部又は一部の提供を停止又は中断することができるものとします。ただし、緊急やむを得ない場合には、事前に通知することなく本サービスの提供の停止又は中断をし、事後速やかに利用者に報告するものとします。
 - (1) 本サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検又は更新を行う場合
 - (2) 地震、落雷、火災、停電又は天災などの不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合
 - (3) 第三者による妨害行為等により本サービスの提供が利用者に支障を与えるおそれがあると判断した場合
 - (4) コンピュータ又は通信回線等が事故により停止した場合
 - (5) その他、**SBPS** が本サービスの提供が困難と判断した場合
2. **SBPS** は、前項に基づき本サービスの提供の停止又は中断したことによって利用者に生じた不利益、損害について、一切の責任を負わないものとします。ただし、**SBPS** に故意又は重過失が認められる場合にはこの限りではないものとします。

第10条 （利用制限及び登録抹消）

1. **SBPS** は、利用者が以下のいずれかに該当する場合には、利用者への事前の通知なく、本サービスの全部若しくは一部の利用を制限、停止又は中止することができるものとします。
 - (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
 - (2) 登録情報に虚偽の事実があることが判明した場合
 - (3) **SBPS** からの連絡に対し、一定期間返答がない場合
 - (4) 料金等の支払債務の不履行があった場合
 - (5) 本サービスについて、最終の利用から1年以上利用がない場合
 - (6) その他、**SBPS** が本サービスの利用を適当でないと判断した場合
2. **SBPS** は、前項に基づき本サービスの全部若しくは一部の利用を制限、停止又は中止したことにより、利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。

第11条 （保証の否認及び免責事項）

1. **SBPS** は、本サービスに事実上又は法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、

有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含みます。)がないことを明示的にも黙示的にも保証しないものとします。

2. 利用者は、自己の責任において本サービスを利用するものとし、通信設備等の障害による本サービス等の停止、中断若しくは遅滞又は利用者の情報その他のデータの消失若しくは漏えいその他本サービス等の利用に関連して利用者に生じた損害等について、SBPS に故意又は重過失が認められる場合を除き、SBPS はその責任を一切負わないものとします。
3. SBPS は、利用者の入力・送信した情報を SBPS のコンピュータシステムが正確、確実に受信することについて何ら保証するものではなく、万一受信に失敗し、又は受信した情報が当該情報と同一のものでなかったとしても、一切責任を負わないものとします。
4. SBPS は、本サービスに関して、利用者と他の利用者又は第三者との間において生じた取引、連絡又は紛争等について一切責任を負わないものとします。

第12条 (本サービスの変更等)

1. SBPS は、利用者に事前に通知することにより、本サービスの内容を変更し又は本サービスの提供を中止することができるものとします。
2. SBPS は、利用者に事前に通知することにより、本サービスの一部又は全部をいつでも廃止できるものとします。
3. 本条によって利用者に生じた損害については、SBPS は一切の責任を負わないものとします。

第13条 (本規約の変更)

SBPS は、個別に利用者の承認を得ることなく、本規約の内容を変更することができるものとします。なお、SBPS は、本規約の内容を変更するときは、その効力発生日を定め、かつ、事前に本規約を変更する旨及び変更後の本規約の内容並びにその効力発生日を SBPS 所定の方法で周知し、効力発生日に本規約は変更されるものとします。

第14条 (秘密保持義務)

1. SBPS 及び利用者は、本規約の内容、本サービスを利用するにあたり知り得た相手方の業務上、技術上、営業上の秘密等一切の情報（媒体及び手段の如何を問わず、複製物及び二次的資料も含むものとします、以下「秘密情報」といいます）を、本サービスの利用のためにのみ使用するものとします。また、SBPS 及び利用者は、善良なる管理者の注意義務をもって秘密情報を保管・管理するものとし、相手方の書面による承諾なくして、秘密情報を本サービスの利用以外の目的に使用したり、第三者に開示・漏洩したりしないものとします。ただし、次の各号のいずれかに該当する情報は、秘密情報に該当しないものとします。

- (1) 開示を受けた時、既に公知又は公用となっていた情報
 - (2) 開示を受けた後、受領者の責めによらず公知又は公用となった情報
 - (3) 開示を受けた時、既に受領者が適法に保有していた情報
 - (4) 正当な権限を有する第三者から、秘密保持義務を負うことなく適法に入手した情報
 - (5) 開示を受けた情報によらず独自に開発した情報
2. SBPS 及び利用者は、相手方より開示された秘密情報を滅失、毀損、漏洩等することがないよう善良な管理者の注意をもって管理し、当該秘密情報が滅失、毀損、漏洩等する事態が発生した場合には、その一切の責任を負うものとします。
 3. 前項の定めにかかわらず、裁判所の命令その他公的機関による法令に基づく開示の要求に応じる場合はこの限りではないものとします。この場合において、SBPS 又は利用者は、相手方に対して通知することについて法令等で制限がある場合を除き、原則として、開示に先立ち、相手方に対して開示要求がなされた旨を書面により通知するものとし、開示される秘密情報の範囲を必要最小限に努めるものとします。
 4. 本条第 1 項の規定にかかわらず、SBPS 及び利用者は、本サービスの利用のために秘密情報を知る必要のある自社の役員（執行役員を含むものとします）、従業員（雇用の形態を問わないものとします）、顧問弁護士、公認会計士及び SBPS の委託先（以下、総称して「従業員等」といいます）に、本サービスの利用に不可欠な範囲に限り、相手方の秘密情報を、相手方の書面による事前の同意を得ることなく開示することができるものとします。この場合に、SBPS 及び利用者は、従業員等に対し、本規約に定める義務と同等の義務を負わせかつその一切の責任を負うものとします。
 5. SBPS 及び利用者は、本サービスの利用が終了した場合又は相手方の指示、要求がある場合には、その指示、要求内容に従い秘密情報の返却又は廃棄その他の処分を行うものとします。

第15条 （個人情報の取扱い）

1. SBPS は、利用者の個人情報（個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 2 条第 1 項に定める個人情報をいいます）を、下記に公開している SBPS の「プライバシーポリシー」及び「個人情報の取扱いについて」に定める利用目的に基づき取得、管理、利用するとともに、関連法令を遵守するものとし、また、当該個人情報を厳重に管理し、従業員等による不当な複製又は持ち出しが不可能な体制を構築するものとします。
 - ・ プライバシーポリシー
<https://www.sbpayment.co.jp/ja/privacy/policy/index.html>
 - ・ 個人情報の取り扱いについて
<https://www.sbpayment.co.jp/ja/privacy/handling/index.html>
2. SBPS は、利用者の個人情報又は個人情報を含むデータベースへの不正アクセス、紛失、

改ざん、漏洩があった場合、直ちに利用者に通知を行うものとします。

3. SBPS による第三者への個人情報の提供は、当該利用者が同意している場合又は業務上必要があり当該利用者等の保護に値する正当な利益が侵害されるおそれのない場合であって利用者の同意がある場合、ならびに各種法令の規定により提出を求められた場合及びそれに準ずる公共の利益のため必要がある場合に限るものとし、提供に際しては守秘義務について十分配慮するものとします。
4. SBPS は、本条に違反することにより利用者に損害を生じせしめた場合には、利用者が被った直接かつ通常の損害を賠償するものとします。

第16条 （情報の取り扱い）

前 2 項の規定に関わらず、利用者は、本サービスを通じて取得される取引情報を、SBPS に提供すること、及び SBPS が取得した取引情報を、利用者や利用者の個人情報を除き、利用者の書面による事前の同意を得ることなく、以下の目的で、決済手段を提供する事業者、委託先及び SBPS と提携関係又は協業関係にある事業者に提供できることに同意するものとします。

- (1) 本サービスの提供（不正利用の防止のために基づく場合も含むものとします）、運営、改善のため
- (2) 本サービスに関連する新たなサービスの開発及び提供のため
- (3) 法令に基づく場合又は法的義務を履行するため

第17条 （通知、連絡）

1. 利用者は、SBPS 所定の方法によって、SBPS に通知、連絡又は問い合わせを行うものとします。
2. SBPS は、登録情報先に書類、電子メール等を郵送、送信した場合には、延着又は到着しなかった場合であっても、当該書類等が通常到着すべきときに到着したものとみなします。
3. 利用者は、登録情報に変更があった場合には、SBPS が別途定める方式に従った変更届を提出するものとします。なお、利用者が変更届の提出を怠った場合、SBPS に登録されている登録情報が有効なものであるとみなして、当該登録情報に書類、電子メール等を郵送、送信した場合には、延着又は到着しなかった場合であっても、当該書類等が通常到着すべきときに到着したものとみなします。
4. SBPS は、本規約で別に定める場合を除き、利用者に対して行う各種通知（本規約において書面、文書により行う通知を含むものとします）を、利用者が予め SBPS に届出したメールアドレス宛に電子メール（以下「通知メール」といいます。）又はポータルサイトに掲示することにより通知することができるものとします。
5. 前項に基づき通知された通知メールは、SBPS の送信用電子計算機から発信された時

点、又はポータルサイトに掲示された時点で到達したものとみなすことができるもの
とします。

6. SBPS から通知された通知メール又はポータルサイトに掲示された内容がデータ化け
等により読み出し不能な場合には、利用者は直ちに SBPS に連絡するものとします。

第18条 （委託）

SBPS は、本サービスの提供に関する業務の全部又は一部を利用者の承諾なしに、第三
者に委託することができるものとします。ただし、SBPS は責任をもって委託先を管理
するものとします。

第19条 （知的財産権）

本サービスを構成する有形・無形の構成物（ソフトウェアプログラム、データベース、
アイコン、画像、文章、マニュアル等の関連ドキュメントを含むものとします）に関す
る著作権を含む一切の知的財産権、その他の権利は、SBPS 又は SBPS に許諾した第
三者に帰属するものとします。

第20条 （権利義務の譲渡の禁止）

利用者は、SBPS の書面による事前の承諾なく、本規約に基づく自己の地位又は本規約
に基づく自己の権利若しくは義務を第三者に譲渡し、又は担保に供することはできな
いものとします。

第21条 （解約）

1. 利用者は、SBPS の定める解約手続を行うことにより、本サービスから解約（終了させ
ることが）できるものとします。
2. 利用者は、前項の解約の申し込みに関して、解約の申し込みをした日が属する月の翌月
末日に解約手続きが完了することに同意するものとします。
3. 理由の如何を問わず本サービスの利用終了後であっても、第 9 条（本サービスの提供
の停止等）第 2 項、第 10 条（利用制限及び登録抹消）第 2 項、11 条（保証の否認及び
免責事項）、第 14 条（秘密保持義務）、第 15 条（個人情報の取扱い）第 19 条（知的財
産権）、第 20 条（権利義務の譲渡の禁止）、本項、第 22 条（反社会的勢力の排除）第 4
項、第 23 条（分離可能性）及び第 24 条（準拠法・裁判管轄）の規定は、効力を有す
るものとします。

第22条 （反社会的勢力の排除）

1. SBPS 及び利用者は、相手方に対し、自己及び自己の代表者、役員その他実質的に経営
を支配していると認められる者が、現在、次の各号のいずれ（以下「暴力団員等」とい

います)にも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。

- (1) 暴力団
 - (2) 暴力団員
 - (3) 暴力団員でなくなったときから 5 年を経過しない者
 - (4) 暴力団準構成員
 - (5) 暴力団関係企業
 - (6) 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等
 - (7) その他前各号に準ずる者
2. SBPS 及び利用者は、相手方に対し、現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。
- (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
 - (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
 - (3) 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
 - (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。
 - (5) 役員又は経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。
3. SBPS 及び利用者は、相手方に対し、自ら又は第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約するものとします。
- (1) 詐術、暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用い若しくは威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準ずる行為
4. SBPS 又は利用者は、相手方が前 3 項の規定に該当、違反又は表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合、相手方への事前通知なく直ちに本サービスの提供を停止し、本サービスの利用を終了させることができるものとします。この場合、解除者は、被解除者に損害が生じても何らこれを賠償ないし補償することは要せず、また、かかる解除により解除者に損害が生じたときは、被解除者はその損害を賠償するものとします。

第23条 (分離可能性)

本規約のいずれかの条項又はその一部が、法令等により無効又は執行不能と判断され

た場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された条項のうちの当該無効又は執行不能以外の部分は、継続して完全に効力を有するものとします。

第24条 （準拠法・裁判管轄）

1. 本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とします。
2. 本サービスの利用に関して紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2025 年 5 月 20 日 制定